

不登校支援へ交流深め

不登校経験者や専門家によるトークイベントも実施。八戸学院大短期大学部幼児保育学科の野口和也教授は「不登校の子どもが親にぶつける言動とその気持ち」と題し、成長とともに表れる子ども心の揺らぎや、子どもの言動がどんな気持ちに起因しているかなどを解説。「苦しんでいる子どもたちは、時に直情的で過剰な言葉を身近にいる信頼している人にかけてしまう。表面的な言葉ではなく、その奥にある気持ちを読み取ってほしい」と訴えた。

市総合保健センターでイベント

不登校に関する情報や当事者の声に触れられるイベント「ASSORT」が13日、八戸市総合保健センターで開かれた。当事者やその保護者、教育関係者らが参加し、情報交換をしながら交流を深めた。（向屋敦明）

イベントは今年2月に続き2回目。不登校支援ネットワーク「ターゲットリンク」（同市）が主催した。会場では、同市を中心に青森県内外の不登校当事者や保護者に対する直接的な支援を行う30団体と、間接的支援を行う6団体の情報を紹介。不登校相談や、不登校の親経験者と対話ができるブースも設けられた。



講演する野口和也教授

経験者や専門家ら参加、情報交換